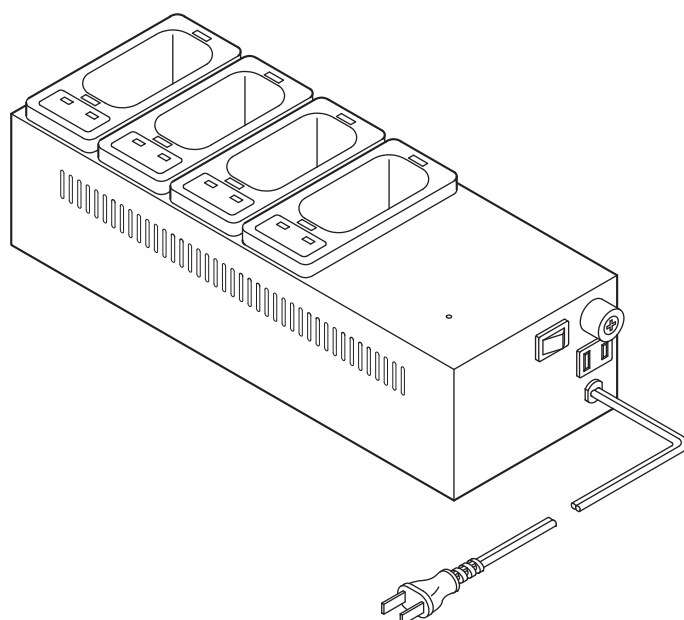




取扱説明書

充電器

BC-1100-4



このたびは、TOA 充電器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目 次

安全上のご注意	3
充電器 BC-1100-4 本体に適用	3
付属の充電電池 WB-1200 に適用	5
概 要	7
特 長	7
使用上のご注意	7
適合機器および適合電池	8
各部の名称とはたらき	8
充電のしかた	9
故障かな？と思ったら	10
仕 様	10
専用充電電池 WB-1200 について	11
ニッケル水素電池のリサイクルについて	11
使用上のご注意	11
仕 様	11

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号



分解禁止



禁止

行為を強制する記号



強制



電源プラグを抜く

■ 充電器 BC-1100-4 本体に適用



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）



電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

AC アウトレットの容量（最大 3 A）を超えない

本機の AC アウトレットには、3 A を超える機器は接続しないでください。
火災の原因となります。



禁止

専用充電電池以外は使用しない

乾電池や指定以外の充電電池を使用すると、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用するとき

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜け

満充電となった電池を繰り返し充電しない

本機はタイマー充電式（電池の充電量にかかわらず一定時間充電する方式）のため、以下のことを守ってください。
守らないと過充電による電池の劣化、液もれにより、けがの原因となることがあります。

- 電池は容量を使い切ってから充電してください。（1回の充電による電池持続時間は、お使いになる機器の取扱説明書を参照してください。）
- 電池残量表示機能のある機器については、バッテリーチェックランプが赤くなってから充電してください。
- 短時間の使用で頻繁に充電しないでください。
- 満充電となった電池を繰り返し充電しないでください。
- 満充電（充電完了）された機器を挿入したままで、充電器の電源を切った後に再度、充電器の電源を入れないでください。



禁止

■ 付属の充電電池 WB-1200 に適用



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

使用するとき

異常が起きたら使用を中止する

次の場合、機器の使用を中止して電池を取り出し、火気から遠ざけてください。
そのまま使用すると、発火・破裂の原因となります。

- 液もれ、変色、変形、損傷があるとき
- 煙が出ている、変なにおいがするとき



強制

分解、改造をしない

電池を変形・改造したり、直接はんだ付けしたりすると、安全機構や保護装置が損なわれ、発火・破裂・漏液の原因となります。



分解禁止

端子を金属類でショートさせない

プラス（＋）とマイナス（－）端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、金属性のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



禁止



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

使用するとき

加熱したり、火の中に入れたりしない

ガス排出弁や安全機構が損なわれ、発火・破裂の原因となります。



禁止

水にぬらさない

水につけたり、端子部分をぬらしたりしないでください。
腐食により、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



禁止

使用環境温度に注意する

火のそばや炎天下の車中など（60℃以上になるところ）での使用・保管・放置はしないでください。
高温になると、安全機構や保護装置が損なわれ、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



強制

充電するときは、指定の充電器を使用する

指定以外の充電器を使用すると、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



強制

指定外の機器に使用しない

異常な電流が流れて、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



禁止

大きな衝撃を与えない

落したり、ぶつけたりしないでください。
衝撃により、安全機構や保護装置が損なわれ、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



禁止

電池内部の液が付いたら、洗い流す

液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。きれいな水で洗い流し、ただちに医師にご相談ください。
皮膚・衣服に付いたときは、皮膚に傷害をおこす恐れがあります。きれいな水で洗い流してください。



強制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

充電時間に注意する

6時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
そのまま続けて充電すると、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



強制



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用するとき

満充電となった電池を繰り返し充電しない

以下のことを守らないと、過充電による電池の劣化、液もれにより、けがの原因となることがあります。

- 電池は容量を使い切ってから充電してください。(1回の充電による電池持続時間は、お使いになる機器の取扱説明書を参照してください。)
- 電池残量表示機能のある機器については、バッテリーチェックランプが赤くなってから充電してください。
- 短時間の使用で頻繁に充電しないでください。
- 満充電となった電池を繰り返し充電しないでください。



禁止

概要

本機は、携帯機、携帯型送信機、および携帯型受信機の専用充電器です。

特長

- タイマー充電方式を採用し、約6時間で最大4台の機器を同時に充電できます。
充電完了後は、トリクル充電（補充電）に移行し自然放電による、電池容量の低下を軽減することができます。
- 本機には、専用充電電池 WB-1200*が4本付属しています。
* WB-1200 は単品では販売していません。新たにお買い求めの際は WB-1200-2 (2本入り) をご注文ください。

使用上のご注意

- 充電器の周囲温度が0～40℃の範囲でご使用ください。
- 充電中は、充電する機器の電源を必ず切ってください。充電完了となっても、満充電にならない場合があります。
- 本機で充電する機器には、付属の専用充電電池 WB-1200 をご使用ください。それ以外の電池を使用すると、充電できないばかりではなく、充電器や機器の故障の原因となることがあります。
- 振動のあるところには設置しないでください。誤動作する可能性があります。
- 充電電池の充放電回数は約500回です。この回数を超えてご使用になりますと、充電する機器の使用時間が短くなります。早めに専用充電電池 WB-1200 に交換してください。
- ケースの汚れは柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色や変形する場合があります。
- ご使用にならないときは、電源を切ってください。
- 充電端子を時々乾いた綿棒などでふき、きれいにしてお使いください。端子が汚れていると接触が悪くなり、正常に充電されないことがあります。

適合機器および適合電池

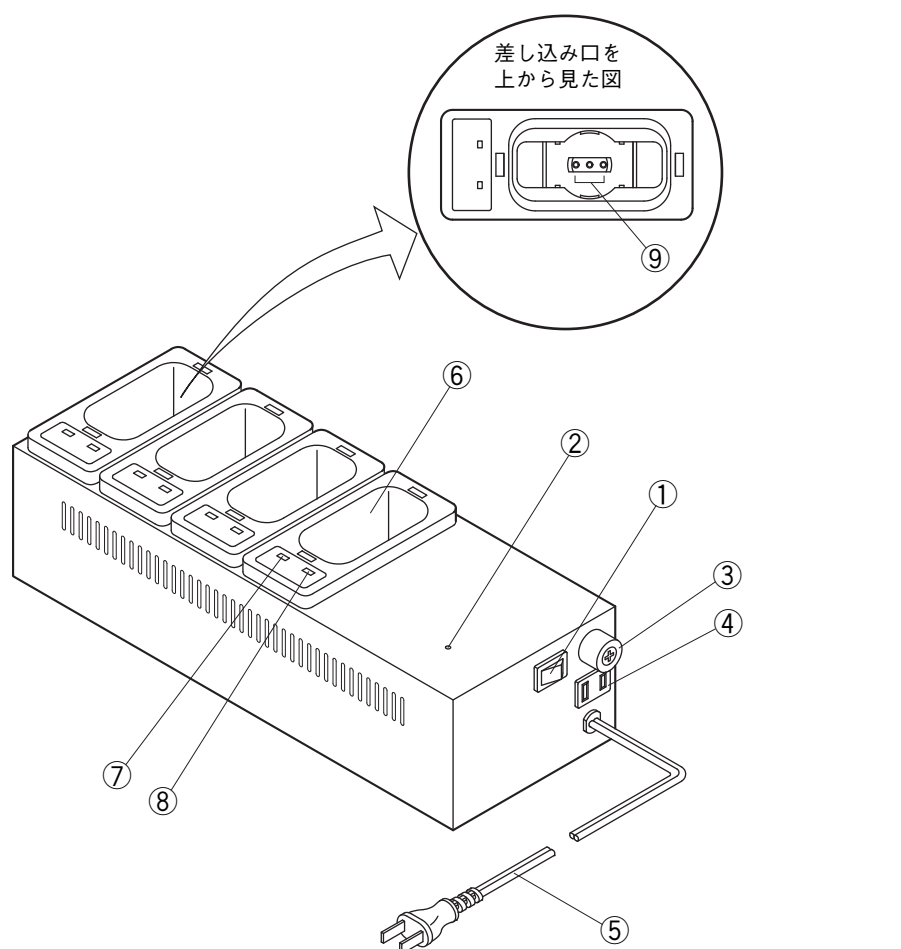
● 適合機器（本機で充電できる機種）

携帯機	WF-101
携帯型送信機	WM-1100、WM-1120
携帯型受信機	WT-1100、WT-1101-C11C13、WT-1101-C12C14

● 適合電池

WB-1200

各部の名称とはたらき



1. 電源スイッチ

2. 電源表示灯

電源スイッチが「入」のとき、緑色に点灯します。

3. AC ヒューズ

ヒューズの容量は 1 A です。

4. AC コンセント

電源スイッチには連動していません。
最大 3 A まで使用できます。

5. 電源コード

6. 差し込み口

携帯機やマイクロホンを差し込みます。

7. 充電中表示灯

充電中は赤色に点灯します。

8. 充電完了表示灯

充電完了後は緑色に点灯します。

9. 充電端子

充電のしかた

満充電となった電池を繰り返し充電しない

本機はタイマー充電式（電池の充電量にかかわらず一定時間充電する方式）のため、以下のことを守ってください。

守らないと過充電による電池の劣化、液もれにより、けがの原因となることがあります。



注意

- 電池は容量を使い切ってから充電してください。（1回の充電による電池持続時間は、お使いになる機器の取扱説明書を参照してください。）
- 電池残量表示機能のある機器については、バッテリーチェックランプが赤くなってから充電してください。
- 短時間の使用で頻繁に充電しないでください。
- 満充電となった電池を繰り返し充電しないでください。
- 満充電（充電完了）された機器を挿入したままで、充電器の電源を切った後に再度、充電器の電源を入れないでください。

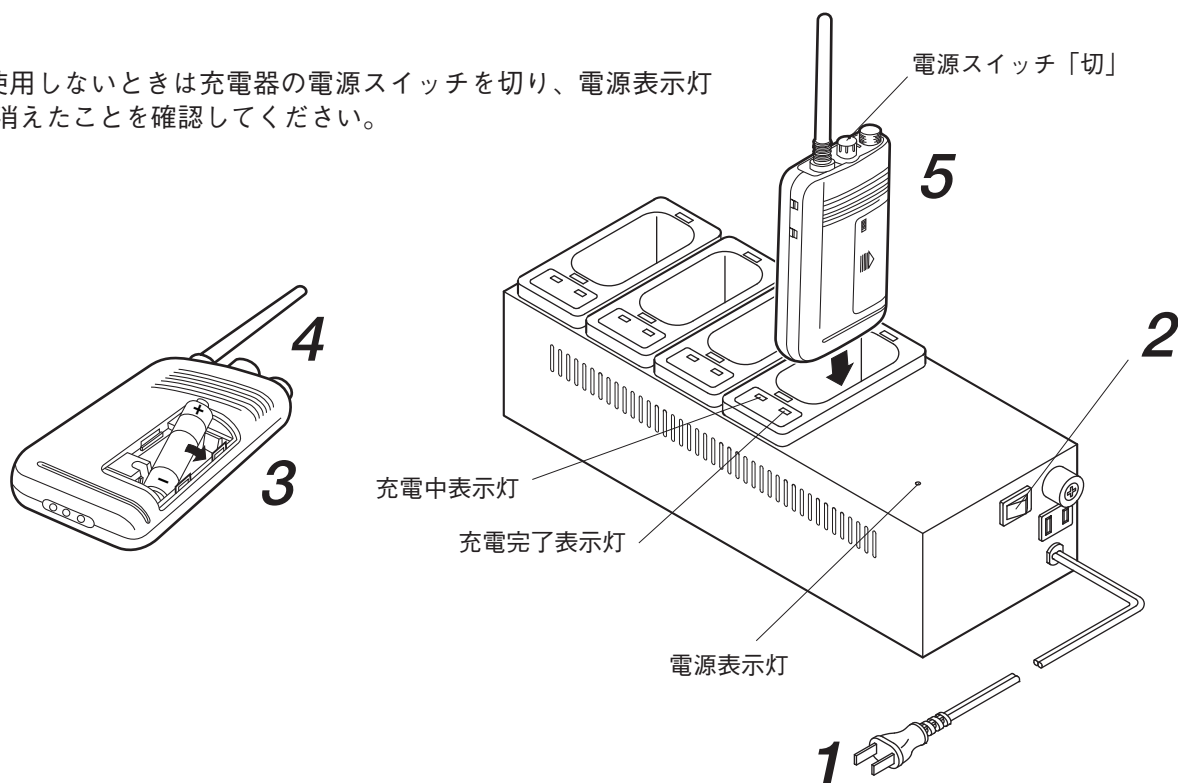
- 1 ACプラグを電源（AC100 V）コンセントに差し込む。
- 2 本機の電源スイッチを入れ、電源表示灯（緑色）が点灯することを確認する。
- 3 本機で充電する機器に、付属の専用充電電池 WB-1200 を入れる。
専用充電電池の入れかたについては、各機器の取扱説明書を参照してください。
- 4 充電する機器の電源スイッチを「切」にする。
- 5 充電する機器を本機の差し込み口の奥まで挿入し、充電中表示灯（赤色）が点灯することを確認する。
充電中表示灯（赤色）が点灯しないときは、内部の電池を確かめてください。
メ モ 充電する機器は、前後どちらの向きに差し込んでも充電できます。

約6時間で充電が完了し、充電完了表示灯（緑色）が点灯します。

充電完了後（充電完了表示灯が点灯しているとき）は、トリクル充電（補充電）に移行し、自然放電による電池容量の低下を軽減することができます。

ご注意

充電器を使用しないときは充電器の電源スイッチを切り、電源表示灯（緑色）が消えたことを確認してください。



故障かな？と思ったら

症 状	点 検	処 置
電源スイッチを入れても電源表示灯（緑色）が点灯しない。	AC プラグが電源コンセントに差し込まれていますか？ ヒューズが切れていませんか？	AC プラグを電源コンセントに差し込んでください。 ヒューズを交換してください。
充電する機器を差し込み口に差し込んでも充電中表示灯（赤色）が点灯しない。	充電する機器は差し込み口に正しく入っていますか？	充電する機器を奥まで差し込んでください。
	充電する機器に専用充電電池が入っていますか？	専用充電電池 WB-1200 を入れてください。 充電できる電池は専用充電電池 WB-1200 のみです。乾電池や一般のニッケル水素電池は充電できません。
	充電端子が汚れていませんか？	乾いた綿棒などでふき、きれいにしてください。
充電した機器の電池持続時間が短い。	充電中に、充電する機器の電源スイッチが「入」のままになっていませんか？	充電する機器の電源スイッチを「切」にしてください。
	電池が劣化していませんか？	新しい専用充電電池 WB-1200 と交換してください。

仕 様

電 流	AC100 V、50/60 Hz
消 費 電 力	10 VA（6 W）
定 格 出 力	1.5 V、0.2 A × 4
充 電 時 間	約 6 時間
充 電 台 数	4 台
使 用 温 度 範 囲	0 ～ 40℃
仕 上 げ	銅板、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装
寸 法	312（幅）× 100.5（高さ）× 115（奥行）mm
質 量	1.6 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

専用充電電池 WB-1200 4
ヒューズ（1 A） 1

専用充電電池 WB-1200 について



注意

満充電となった電池を繰り返し充電しない

以下のことを守らないと、過充電による電池の劣化、液もれにより、けがの原因となることがあります。

- 電池は容量を使い切ってから充電してください。(1回の充電による電池持続時間は、お使いになる機器の取扱説明書を参照してください。)
- 電池残量表示機能のある機器については、バッテリーチェックランプが赤くなってから充電してください。
- 短時間の使用で頻繁に充電しないでください。
- 満充電となった電池を繰り返し充電しないでください。

■ ニッケル水素電池のリサイクルについて



Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください

この充電電池は、ニッケル水素電池です。

ニッケル水素電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

使用済みの電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

■ 使用上のご注意

- お買い上げ後、初めての使用や長期間使用しなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。
- 電池の充電は、ご使用の直前か前日に行ってください。
※ 充電後、長期間放置すると自然に放電しますので、使用できる時間が短くなる場合があります。
- 極端な高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。
また、電池の寿命も短くなります。常温(20 ± 5℃)でのご使用をおすすめします。
10℃以下で使用すると、電池の使用可能時間が著しく短くなります。
- 使用直後は高温になることがあります。
電池を取り外すときは、マイクの使用を中止し、電池の温度が下がってから行ってください。
- 過放電状態になると、充電しても使えなくなることがあります。
長期間使用しないときは、半年に1回の割合で5分程度充電してください。
- 電池を使用しないときは、マイクから取り出し、-20℃～+30℃で湿気のない場所に保管してください。
- 満充電に近い状態での保管は避けてください。ほぼ使い切った状態での保管をおすすめします。

■ 仕 様

公 称 電 圧	DC1.2 V
公 称 容 量	最小 1000 mAh
使 用 温 度 範 囲	-5 ～ +40℃ (充電時は 0 ～ 40℃)
使 用 湿 度 範 囲	30 ～ 85% RH
寸 法	φ 14.2 × 50.2 (長さ) mm
質 量	30 g (1本あたり)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



TOA お客様相談センター	
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	フリーダイヤル 0120-108-117
	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)
	FAX 0570-017-108 (有料)
	※ PHS、IP 電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。
最寄りの営業所については、下記のホームページをご確認ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

133-07-00037-00